**社会保障II　2023年11月15日（水）2限目 10:40 ～12：10 　講義室 304**

**第7回【介護保険制度創設】介護保険制度設立以前から介護保険創設までの状況**

**第5章・第2節介護保険制度の概要(1)介護保険制度の沿革p.140-142**

**●リアクションペーパーII＃７**

**学科名　　　　　　　　　学年　　　　学生番号　　　　　　　氏名**

**この講義でわかったことなどをチェックして下さい。（複数回答可能）。**

**１．介護保険制度の必要性**

**□高齢期になると多くの人が高い確率で介護が必要になる。**

**□平均寿命は男性81.4歳、女性87. 5歳（2019年現在）だが、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」としての健康寿命は、男性72.7歳、女性75.４歳と短く、この差の分だけ介護を必要とする期間が生じる。**

**□また認知症の有病率（2017年現在）は 65歳以上で16%。80歳後半で男性35%・女性44%、95歳以降では男性51%・女性84％で加齢とともに大半の人が認知症になる。**

**□戦後間もない時期は平均寿命50歳程度、介護が必要となる程長生きする人は少なく、介護の期間も短かった。また家族同居・専業主婦が一般的で家族介護で間に合った**

**□医療の発達とともに平均寿命が延伸し、介護期間も長くなる。その一方、核家族化や高齢単身世帯が増加。近年は老老介護も増加し、介護需要は今後も拡大してゆく。**

**□このような介護需要の増大への対応をとして1997（H9)年に介護保険制度が創設された。**

**２．創設されるまでの状況＋介護保険制度の改良**

**□介護保険制度の創設前は老人福祉法1963年に基づく措置制度と老人保健法1982年に基づく看護・介護しかなかった。**

**□老人福祉法（1963）に基づく老人福祉制度は❶税が主な財源で増加する高齢者に十分なサービスを提供できない❷措置制度なので高齢者が施設や事業者を選択できない。❸所得に応じた利用者負担＝所得調査あり❹福祉サービス＝低所得者向けのイメージなどがあり利用しにくいなどの問題があった。**

**□老人保険制度（1982）：老人保険施設などの高齢者介護の一部を担うが医療の一部として提供、老人病院＝社会的入院：医療ではなく介護目的の長期入院が増加等の問題が発生。**

**□介護保険制度の創設（1997）・運営開始（2000）・介護保険法の改正・2005年から3年ごとに2008年、2011年、2014年、2017年、2021年、2024年。**

**□居宅サービス利用者数：当初149万人から487万人、介護給付費：3兆2427億円⇒9兆4443億円へ3.3倍に急増した。**

**□被保険者の保険料負担・公費負担の増加、民間事業者の参入⇒事業者による不正請求の問題などへの対応が進められた。**

**□現在の２つの方向性として介護予防重視・地域包括ケアの推進が挙げられている。**